



完成説明会の様子

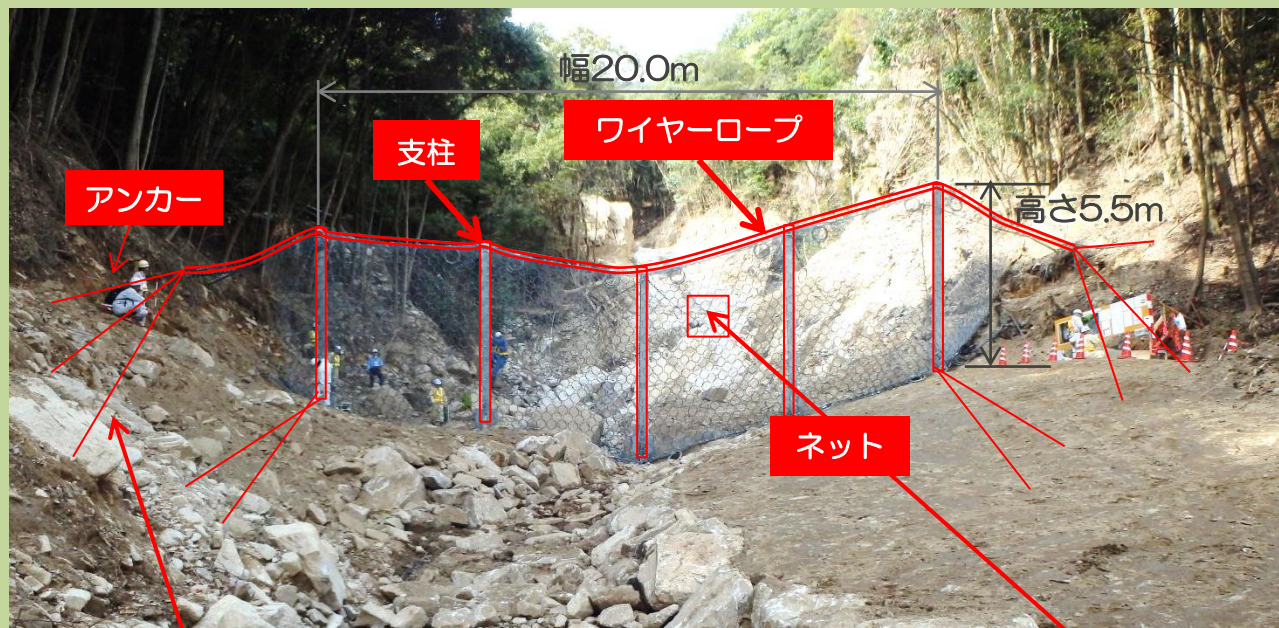
強靱ワイヤーネットとは？

リング状の鋼材をつなぎ合わせたネットを土石流が発生する溪流の出口付近に設置し、土砂を捕捉します。安定した地中の岩盤と連結し、引張力によって固定（アンカー工法）しています。

砂防工事における設置事例



303溪流（上山川）の強靱ワイヤーネット



強靱ワイヤーネットQ&A

Q1. 大きな岩や大量の土砂が流れてきてもワイヤーネットが倒れることはないの？

A1. 地中の岩盤に固定しているため、簡単には倒れません。他に導入されている場所でも、今のところ倒れた事例はありません。

Q2. ワイヤーネットが出来れば安心していいの？

A2. 想定を超える土石流が起これば、被害が発生するおそれがあります。ワイヤーネットが完成しても、豪雨が予想される場合や避難勧告が出た場合には速やかに避難してください。

砂防堰堤を設計中です

土石流が発生する可能性のある溪流を調査し、砂防堰堤の設計を行っています。
現地で以下のような作業を行いますので、ご協力をお願いいたします。

溪流調査とは・・・

目的

流出する可能性のある土砂・
流木量の把握

作業内容

溪流の幅、土砂の深さ、
石の大きさなどを計測します。



測量とは・・・

目的

土地の正確な計測

作業内容

距離・地盤の高さの計測(枝打ち
や、木杭を打つことがあります。)



地質調査とは・・・

目的

地盤の強度等の把握

作業内容

垂直に穴を掘って土と岩盤を採
取し、地盤の頑丈さを計測
します。



砂防堰堤検討の
大まかな流れ

①溪流調査

現在の作業

②砂防堰堤の 位置を決める

③測量

④地質調査

⑤砂防堰堤の設計

現地推進室のご紹介

国土交通省中国地方整備局では、今回の土砂災害に対して砂防事業の推進体制を強化するため、「広島豪雨土砂災害対策推進室」を9月19日に太田川河川事務所（中区八丁堀）に設置しました。また、対策工事の管理のため、「現地推進室」を高瀬堰管理所内に開設しました。

現地推進室からは地域のみなさまに、定期的に工事の進捗状況などをお知らせしていきます。工事についてお困りのことなどがございましたら、お気軽に現地推進室までお問い合わせください。



本誌は太田川河川事務所HPにも掲載しています。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/>

広島豪雨土砂災害対策現地推進室

所在地：広島市安佐南区八木5丁目31-1

太田川河川事務所 高瀬分室

連絡先：082-830-2367

室長：横尾和久

本誌担当：水谷沙織

